

鎮静ハンズオンセミナー

～処置・検査時の鎮静中の観察と対応～

【研修目的】

安全な鎮静管理のための観察ポイントを理解し、副作用発生時の対応に関する知識・技術を習得し、各施設で安全な鎮静管理について根付かせる。

【日時】：2018年9月30日（日曜日）10時～17時

【場所】：日本医療機能評価機構 9階ホール

【定員】：48名（1施設2名 1組で応募ください）

【参加要件】★院内で鎮静の教育を担って行く方

- ・医療安全管理者
- ・医療安全担当医師
- ・中堅看護師（処置時の鎮静に関わっている看護実践者）

※ 応募時の注意：グループで鎮静中の場面を設定し、鎮静計画をたてシミュレーションを実施予定です。申込み時に、参加したい場面を下記より選択ください。（内視鏡・カテーテル検査治療・小児MRI）

【申込期間】：6月19日10時～6月29日まで

申し込み多数の場合は、抽選といたします。

抽選結果は7月13日までにご連絡いたします。

【参加費用】・1名につき10,000円

※ 宿泊・昼食は各自でご手配ください

※ 参加決定後、一旦お振込いただきました費用は返金いたしかねます。

◇参加申し込みはホームページ

当協議会ホームページ(<https://www.psp-ja.jcahc.or.jp/>)「セミナー一覧」画面よりお申し込みください。

会員病院の申し込みは会員専用サイトへのログインが必要です（要ID、パスワード）。

【講師一覧】

(敬称略)

安宅一晃	地方独立行政法人 奈良県病院機構 奈良県総合医療センター	集中治療部 部長
萱嶋道徳	奈良県立医科大学附属病院	医療技術センター 参与・技師長事務取扱
菊地龍明	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	医療安全・医療管理学 准教授 病院長補佐 安全管理指導者
長谷川隆一	獨協医科大学埼玉医療センター	集中治療科 学内教授
森安恵実	北里大学病院	RST・RRT室 係長

【研修内容】 講義＋演習

- 1、鎮静と鎮痛について
- 2、鎮静のための薬剤について
- 3、鎮静中の患者観察と評価について
- 4、ワーク1、鎮静計画の作成、ワークシート使用) → 振り返り
- 5、グループワーク2 (場面設定に基づくシナリオ作成、シミュレーション) → 振り返り
- 6、シナリオステーション (作成したシナリオをお互いに施行)
→ 振り返り
- 7、デブリーフィング

※進行予定や協議時間等については予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。



◇お問い合わせ先：(公財)日本医療機能評価機構 教育研修事業部
大鹿・遠田 TEL03-5217-2326 (直)